中野区公園再整備計画

時代やニーズの変化に対応し、あらゆる世代のだれもが利用しやすい魅力的な公園環境づくりを推進するため、中野区の地域特性を踏まえた公園の機能・役割・利活用等について、とりまとめたものです。

中野区公園再整備計画の
詳細はこちらから↑

公園の現状

※再整備計画の段階から１公園増えて、現在は 170 公園となっております。

① 公園面積

公園・緑道の規模		公園数（R3. 4）	割合（%）
大規模公園	5,000m² 以上	13	7.7
中規模公園	**2,000m²～5,000m²**	**24**	**14.2**
小規模公園	2,000m² 未満	132	78.1

② 施設の老朽化

開園年月	公園数	割合（%）
1930年～1980 年代	**127**	**75.2**
1990 年代	20	11.8
2000年以降	22	13.0

③ 利用ルール

169 公園ほぼ全てに禁止行為に対する看板を設置しています。多様化する苦情に対し、公園の実情に応じた適切な周知・啓発を行っています。

意識調査・ヒアリング調査を踏まえた重点課題

中野区民 2,000 人を対象にした公園に関する意識調査と、5 企業を対象に民間活力導入の可能性を模索するためのヒアリング調査を行い、重点課題をまとめました。

〇空間やニーズに応じた安心して利用できる**遊具の適切な配置・更新**

〇トイレの清掃強化のほか、洋式化や親子連れへの配慮等、**トイレの利便性の向上**

〇自然を身近に感じられる**みどりの保全と創出**

〇**利用ルール**に対して、不満と現状維持の意見が同程度あることを踏まえた**柔軟な対応**

〇利用頻度の高い子育て世代をはじめとする公園利用者が、快適に公園を利用できるような、**多世代に応じた環境の整備**や、**地域等と連携した運営**

〇維持管理費用の低減や平準化を図るための仕組みづくりの検討

〇公園を安心して利用できるような、**防犯対策等の環境づくり**

重点課題を解決し、「快適で魅力ある公園」にするための基本的な考え方

基本的な考え方 1
施設の配置・改修

基本的な考え方 2
利用ルールの見直し

基本的な考え方 3
公園運営の視点

基本的な考え方 4
維持管理コストの削減

基本的な考え方 5
安全・安心の確保

子どもから大人まで楽しめる“魅力ある公園づくり”を目指す

栄町公園再整備プラン

令和７年度の基本設計にて、アンケートやワークショップ等を行い地域住民のみなさまの意見を頂戴いたしました。これらの意見を踏まえ、計３回開催されたワークショップにおいて、参加者のみなさまと共に検討を重ね、栄町公園再整備プランを下記のようにとりまとめました。

栄町公園再整備プラン



広場エリア
・現況と同等の広さを確保
・広場内に硬い舗装の通路は設けない
・広場内のシンボル的な高木は基本的に残す
（ケヤキ、ユリノキ等）

北側出入口部
・エントランス部を整備
（滞留＋土砂流出対策）

北東沿道部
・植栽帯を狭めることで遊具エリアを拡張
・見通しの悪さを改善

遊具エリア
・児童と乳幼児の遊び場をエリア分け
～遊具の例～
乳幼児エリア：砂場、スイング遊具など
児童エリア：複合遊具、ブランコなど

じゃぶじゃぶ池
・現況と同様、乳幼児プールとして改修
・夏季以外の利用も考慮したプール形状：北側（広場側）をスロープ状、南側を段差状として、底部を平らにする
・保護者の見守り兼休憩スペースとして、日陰となるパーゴラの設置を検討
・広場との区分けは可動式境界柵の設置を検討

高低差のあるエリア
・滑り台は今と同様の素材で改修
・階段を１箇所に集約

西側園路
・現況の主要動線は確保

トイレ
・防犯のため出入口は見通しを確保しやすい東向きに配置（1 方向）
・電灯の LED 化や人感センサーの設置、周辺樹木の整理等による暗さの改善
・出入口付近に目隠し壁等を設けることで、外から中が見えてしまう状況を改善

南側エリア
・トイレの位置を変更し、空間を有効活用
・西側：エントランス空間を広く確保
・東側：交流・休憩空間を確保し、縁台やベンチを設置

駐輪場
・方南通り側に駐輪場を整備

東側園路
・現況の主要動線は確保（管理用通路）

～ゾーニング図～



～令和７年度基本設計での流れ～

R7.7 みなみの小学校出張授業

R7.9 オープンハウス／利用者アンケート

R7.10 | R8.1 ワークショップ
- 第１回(10/18)
・整備方針やゾーニングの検討
- 第２回(12/13)
・素案(平面プラン等)の確認
- 第３回(1/24)
・再整備プランの確認及び完成

R8.3 基本設計(基本施設の配置設計)


出張授業の様子



オープンハウスの様子


第１回ワークショップの様子


第２回ワークショップの様子

※本プランは基本設計時点のものです。今後、実施設計を進める中で変更が生じることがあります。

栄町公園再整備プラン　イメージパース



公園全体イメージ



南側イメージ



広場イメージ

※本プランは基本設計時点のものです。今後、実施設計を進める中で変更が生じることがあります。

栄町公園再整備　導入予定遊具

② ロッキング遊具



ロッキング遊具のイメージ

① 複合遊具



複合遊具のイメージ

⑥ 石のすべり台



イメージ



③ すべり台



すべり台のイメージ

⑤ 砂場



砂場のイメージ

※すべり台と砂場は、幼児用エリアとして安全のため、高さ 1.2m 程の柵で囲います。

④ ブランコ





ブランコのイメージ

①複合遊具　アンケート

一番良いと思うものにシールを貼ってください

イメージ A	イメージ B	イメージ C
		
青を基調とした爽やかなカラーリングと波打つデザインが特徴的で、水の動きを感じるワクワクする遊具です。	木や葉っぱ、サカナに風車とバリエーション豊かなデザインが特徴的で、水と風の自然をイメージした親しみのある遊具です。	木や葉っぱ、カブトムシのデザインが特徴的で、森をイメージした暖かみのある遊具です。
規模 11.0m×6.5m程度	規模 9.1m×6.3m程度	規模 8.0m×4.9m程度

※図はイメージであり、実際の遊具とは異なる場合がございます

②ロッキング遊具　アンケート

良(よ)いと思(おも)うもの２つにシールを貼(は)ってください

イメージ A		イメージ B		イメージ C	
					
イメージ D		**イメージ E**		**イメージ F**	
					

※図はイメージであり、実際の遊具とは異なる場合がございます

③すべり台　アンケート

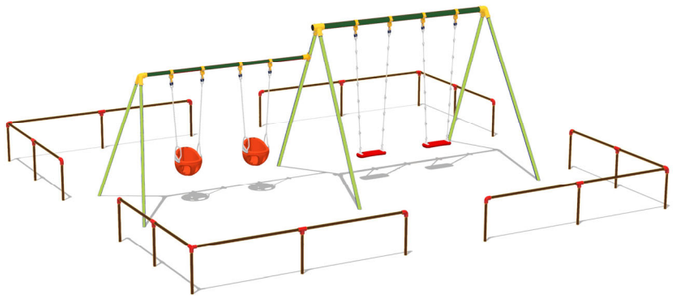
一番良いと思うものにシールを貼ってください

イメージ A	イメージ B	イメージ C
		
いもむしすべり台	きりんのすべり台	クジラのすべり台

※図はイメージであり、実際の遊具とは異なる場合がございます

④ブランコ　アンケート

一番良いと思うものにシールを貼ってください

イメージ A	イメージ B	イメージ C
 	 	 
児童向けの4人用ぶらんこです！	同時に複数人で乗れる皿型シート付のぶらんこです！ 座位が難しい子も挑戦できます。	体の小さな幼児も使えるチェアシート付のぶらんこです！

※図はイメージであり、実際の遊具とは異なる場合がございます

⑤砂場





大きさは３ｍ×３ｍ程度で検討をしています。砂場枠には、丸みを帯びたゴム製の柔らかい素材を使用いたします。

⑥斜面遊具





現状と同等の遊びができるように、安全性にも配慮して整備を行います。

※再整備後の写真はあくまでも、イメージです。今後、実施設計を進める中で変更が生じることがあります。

栄町公園での樹木整理の考え方



栄町公園は、開園から 40 年以上が経過しており、遊具やベンチなどの施設だけでなく、樹木も大きくなり衰退しているものもみられます。

公園の再整備の際には、そうした古くなった樹木の整理（伐採や剪定）し、新しい樹木に更新する必要があります。

公園の樹木は、まちのなかの貴重なみどりであり、地域の皆さんにとっても愛着のあるものですので、**健全な樹木は残し、下記に示す樹木は伐採や剪定を行い、必要に応じて新たな植栽を考えます。**

1　利用者の安全性

公園利用者の安全のため、倒木や落枝の恐れのある樹木や見通しに支障のある樹木を整理（伐採や剪定）します。

①キノコや腐朽・空洞、傾き等が生じている樹木

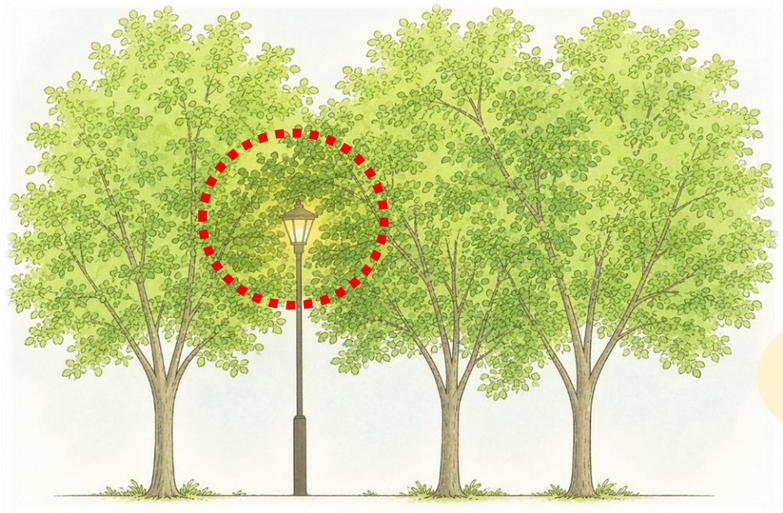






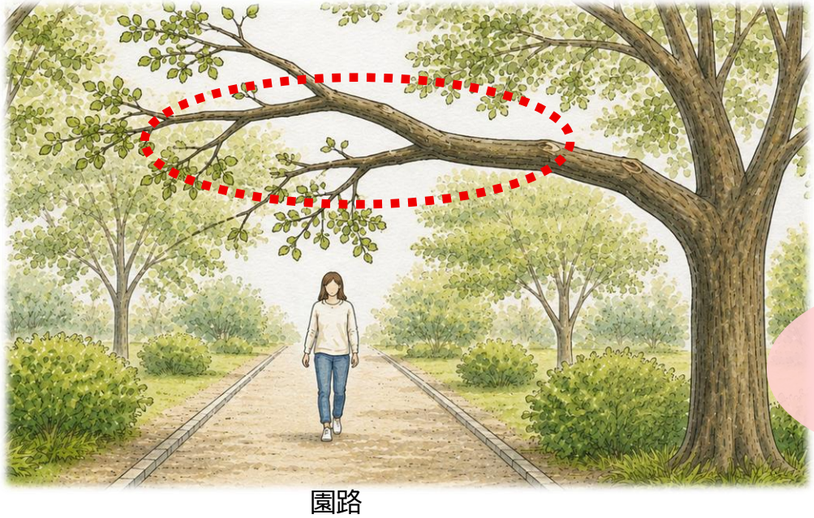
写真：「令和3年度街路樹診断等マニュアル　東京都建設局」より

②照明灯をおおっている樹木



夜間の明るさを確保する

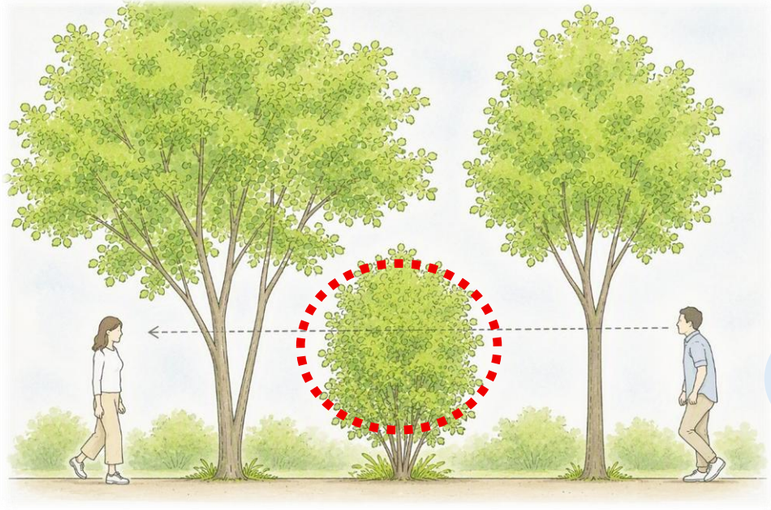
③利用空間への大枝などの張出しがある樹木



園路

落枝によるケガのリスクを軽減

④見通しをさえぎっている樹木

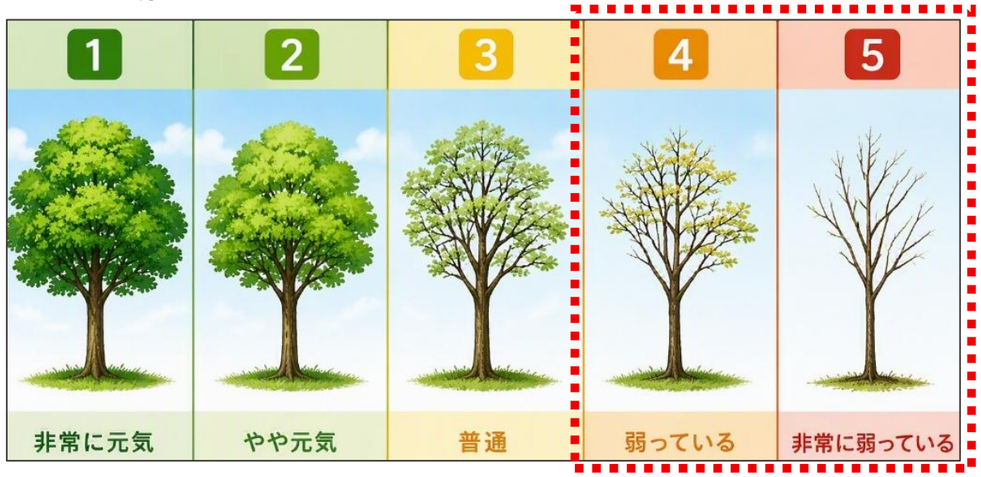


見通しを確保し死角をなくす

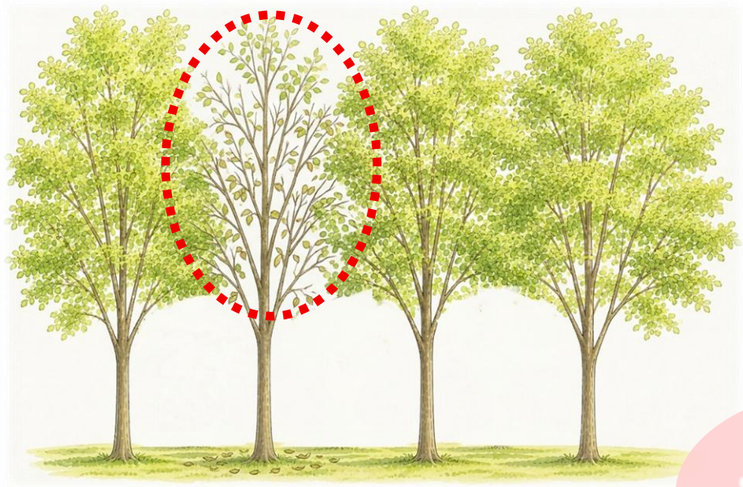
2　樹木の健全性

衰退がみられる樹木を整理(伐採や剪定)し、適切な樹木の生育環境を確保します。

①樹勢・樹形が悪い樹木



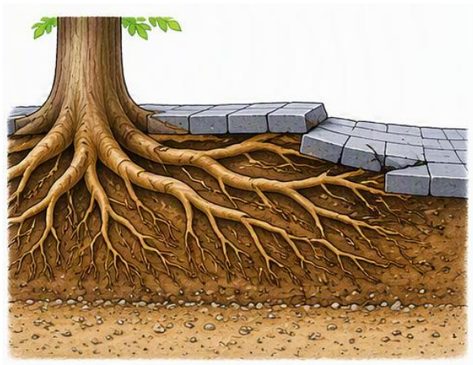
②樹木が密で生育空間の不足や競合し衰退している樹木





**樹木にとって
適切な生育環境
を確保する**

③舗装の根上がりが生じている樹木

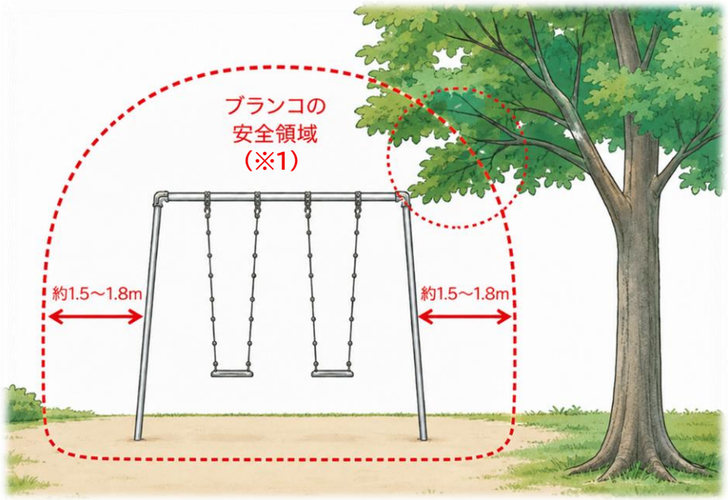




3　計画上支障となる樹木

遊具などほかの施設を使う時に干渉する樹木を整理(伐採や剪定)し、公園全体で使い勝手のよい施設配置とします。

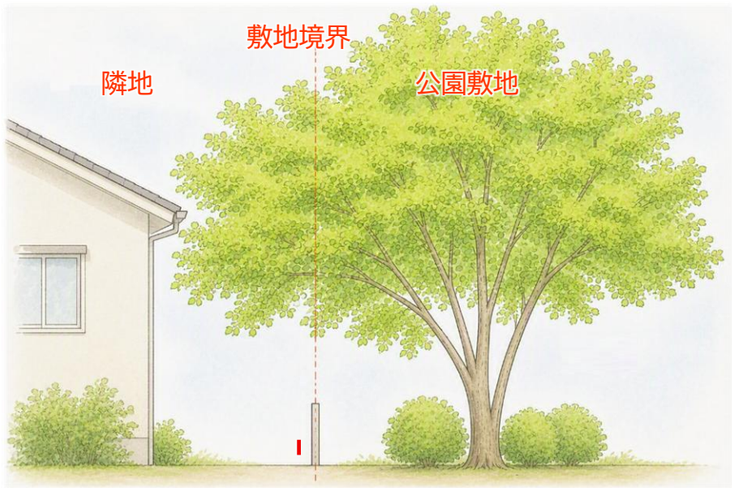
①遊具利用時に接触の恐れのある樹木



**公園利用に支障となる
樹木をなくし、使い勝手
をよくする**

(※1)遊具の安全領域
　子どもが遊具から落下したり飛び出したりした場合に到達すると想定される範囲で、安全領域内には、重大事故に結びつく要因となるような障害物や異物、硬い設置面があってはならない。
遊具本体から全方向に 1.5~1.8m以上確保される。

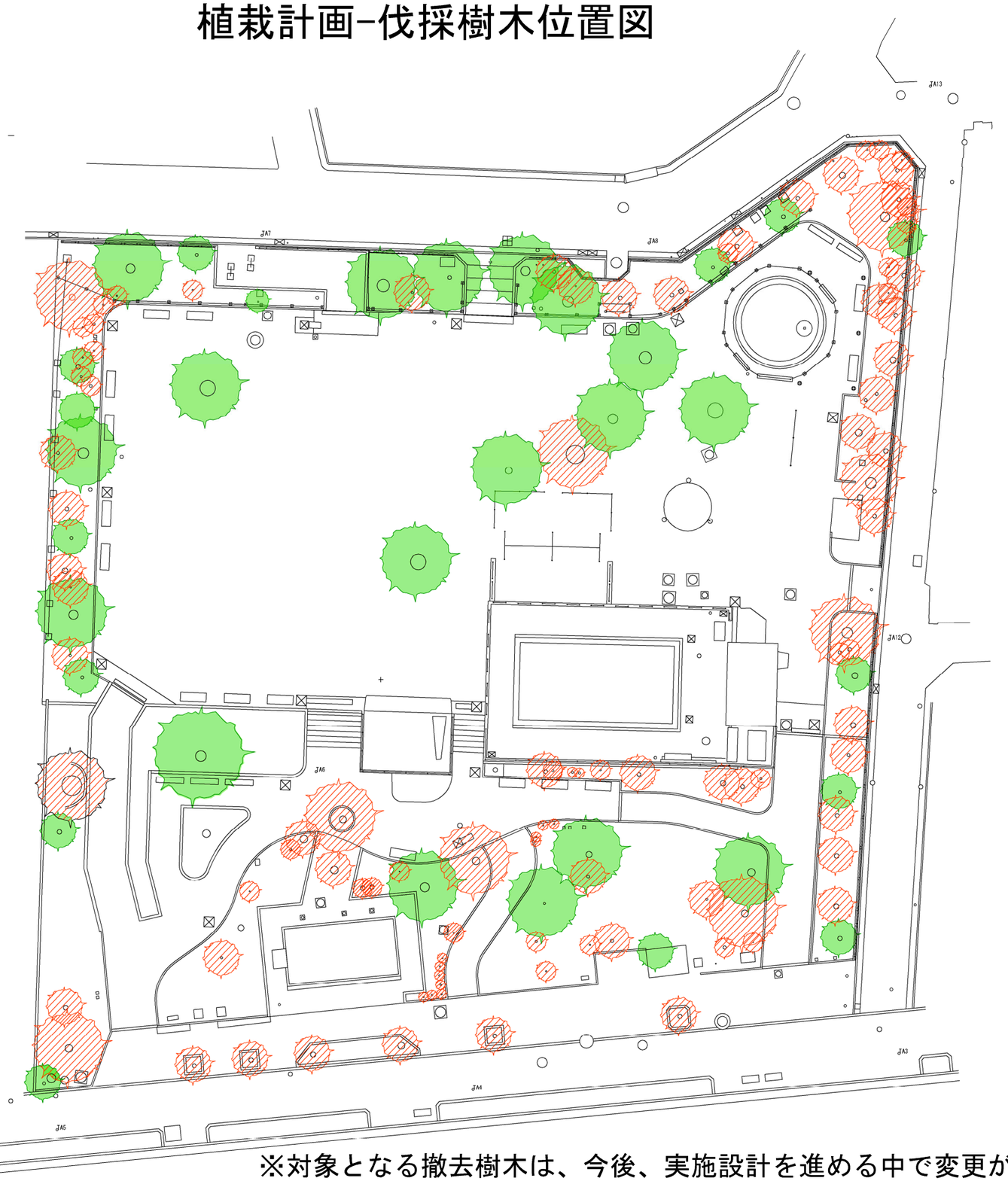
②隣地への落葉・落枝や枝の越境がある樹木



**境界越境を抑え
適切な配置とする**



植栽計画-伐採樹木位置図



	撤去樹木

※対象となる撤去樹木は、今後、実施設計を進める中で変更が生じることがあります。

再整備後の植栽計画

□新設予定樹種 - 中高木


ハナミズキ


サクラ類


サルスベリ

	既存樹木
	新設樹木
	低木移植
	新設低木



□新設予定樹種 - 低木・地被類


ヒラドツツジ


ドウダンツツジ


フイリヤブラン

※新設予定樹種及び配置は、今後、実施設計を進める中で変更が生じることがあります。